

# 川越市初雁公園基本計画(素案)概要について

平成30年9月  
都市計画部 公園整備課

## 1. 趣旨

初雁公園（約4.5ha）は、昭和26年の開設以来、野球場及び市民プールの運動施設並びに本丸御殿がある公園として市民に親しまれてきました。

一方、川越城址に位置する公園であることから、歴史的資源を生かすため、平成元年に現公園及び周辺の県立川越高校及び住宅等を含む約13.5haの区域を城址公園として整備する初雁公園整備基本構想を策定し、市制施行100周年を迎える平成34年を目途に整備することとなっております。

しかしながら、本構想の実現にあたっての課題は多く、事業進捗は困難な状況にあります。

初雁公園は、市街地に位置する貴重なオープンスペースであり、また、周辺には博物館、美術館等の施設もあることから、市民の活動拠点となるとともに、市民及び観光客等で新たな賑わいを創出することができる可能性をもっております。このため、今後の初雁公園の将来像としては、城址公園としての方向性を継承しつつも、規模、整備内容の両面からみて、市民のニーズに沿った、現実的な計画に見直す必要があります。

以上のことから、現在、本市では初雁公園基本計画の策定をするため、平成29年6月に附属機関として、学識経験者、地元自治会などの市の公共的団体の代表者、公募委員等を委員とする川越市初雁公園基本計画審議会を設置しました。

川越市初雁公園基本計画審議会は、現在までに4回開催し、現段階での素案について、今後、継続する審議の参考にするため、市民の皆様のご意見を伺おうとするものです。

## 2. 内容

別添「川越市初雁公園基本計画（素案）概要」のとおり

## 3. 計画策定予定

平成30年度中に川越市初雁公園基本計画審議会からの答申を受け、基本計画の策定をする予定です。